

高校歴史総合プリント（過去問類似）

日本史A（旧課程の過去問） No.7

名前

得点

/10

問1 大正デモクラシー期において、1918年に本格的な政党内閣を組織した首相が率いた与党であり、納税資格を撤廃する選挙制度の導入に対しては、社会の安定を乱すとして「時期尚早」との立場から反対した政党は何か。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 立憲国民党 2. 立憲政友会 3. 立憲同志会 4. 立憲改進黨

問2 浜口雄幸内閣の大蔵大臣井上準之助が、金の輸出制限撤廃（金解禁）を準備・断行するにあたり、国内物価の引き下げや為替相場の安定を図るために実施した、財政支出の抑制や公債整理などを特徴とする経済・財政方針を何というか。（2017年 全国公立入試 類似）

1. 積極財政 2. 統制経済 3. 緊縮財政 4. 金本位制

問3 1915年、日本が最後通牒を送って中国の袁世凱政府に二十一か条の要求の大部分を受諾させたことに対し、中国国民は激しく反発した。この受諾を国家の屈辱として忘れないために、中国で定められた記念日を何というか。（2004年 全国公立入試 類似）

1. 五・三〇事件 2. 国恥記念日 3. 五四運動 4. 万宝山事件

問4 日中戦争期の1930年代末から、従来の労働組合が解散させられる中で、政府主導により職場ごとに結成され、資本家と労働者が一体となって国策に協力し生産増強を図ることを目的とした組織は何か。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 文学報国会 2. 産業報国会 3. 翼賛政治会 4. 大政翼賛会

問5 第二次世界大戦後の改革において、それまでの家族制度に存在した戸主の強い権限や「家」制度を廃止し、婚姻は両性の合意のみに基づいて成立すると定めた1947年の民法改正の直接の根拠となった、1946年に公布された憲法は何か。（2021年 全国公立入試 類似）

1. 労働基準法 2. 労働組合法 3. 日本国憲法 4. 教育基本法

問6 明治期、キリスト教の宣教師らは教育や社会事業を通じて布教活動を展開したが、国家主義的な教育政策との間で摩擦が生じることもあった。1891年、第一高等中学校の奉読式において、教育勅語への敬礼を拒否した（不敬事件）として激しい社会的非難を浴び、辞職を余儀なくされたキリスト教徒の思想家は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 植村正久 2. 内村鑑三 3. 木下尚江 4. 安部磯雄

問7 第一次世界大戦後の日本は、ワシントン体制のもとで協調外交を展開した。加藤高明内閣期の1925年には、北樺太の利権確保などを条件として、それまで国交のなかった社会主義国との間で国交を樹立する合意がなされた。この合意を定めた条約は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 日ソ通商条約 2. 日ソ基本条約 3. 日ソ中立条約 4. 日ソ漁業条約

問8 『原敬日記』において、立憲政体の基礎を築き、1900年に結成された政党の初代総裁となった功績について、国家を思う念慮に基づくものとして高く評価されている、初代内閣総理大臣を務めた政治家は誰か。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 山県有朋 2. 松方正義 3. 大隈重信 4. 伊藤博文

問9 第二次世界大戦末期のソ連軍の侵攻などによる混乱の中、旧満洲（中国東北部）などの地域から日本への帰還が困難となり、現地の人々に引き取られるなどして戦後も長年にわたり現地に留まることを余儀なくされた日本人の子どもたちを何と呼ぶか。（2015年 全国公立入試 類似）

1. 中国残留婦人 2. 樺太残留邦人 3. 中国残留孤児 4. 満蒙開拓移民

問10 大正から昭和期にかけて活躍した洋画家で、フランス留学でルノワールに師事し、帰国後は日本の伝統的な色彩感覚を取り入れた独自の画風を確立して美術団体「二科会」などで活動した人物は誰か。（2015年 全国公立入試 類似）

1. 岡田三郎助 2. 安井曾太郎 3. 梅原龍三郎 4. 坂本繁二郎

答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 2 立憲政友会	1918年に組織された初の本格的な政党内閣において、首相が総裁を務めていた政党である。この政党は、積極政策を掲げて党勢を拡大した一方、納税資格を完全に撤廃する選挙制度の導入（普通選挙）に対しては、時期尚早であるとして慎重・反対の姿勢をとった。その後、1925年の加藤高明内閣（護憲三派内閣）の時代に普通選挙法が成立することになる。
問2	答え 3 緊縮財政	井上準之助大蔵大臣は、金解禁を円滑に進めるために国内の物価を引き下げて為替相場を安定させる必要があると考え、徹底的な財政支出の削減や新規公債発行の抑制を行う緊縮財政を採用した。このデフレ政策は国民に耐乏を強いるものであり、世界恐慌の発生と重なったことで、国内景気を著しく冷え込ませる要因となった。
問3	答え 2 国恥記念日	1915年5月9日、袁世凱政府が日本の最後通牒に応じて二十一か条の要求を受諾したことを受け、中国国民はこの日を「国恥記念日」と定めて排日愛国運動を展開しました。このナショナリズムの高まりは、1919年の五四運動へと連なる中国近代ナショナリズムの重要な出発点となりました。
問4	答え 2 産業報国会	日中戦争の長期化に伴い、1938年以降、政府主導で職場ごとに産業報国会が結成された。これにより従来の労働組合は解散に追い込まれ、労資一体となって戦時生産体制への協力が強要された。
問5	答え 3 日本国憲法	第二次世界大戦後の民主化改革の一環として、1946年に日本国憲法が公布された。同憲法第24条は「婚姻は、両性の合意のみに基いて成立」し、「個人の尊厳と両性の本質的平等」に立脚して家族に関わる法律が制定されるべきことを定めた。これに基づき、1898年以来の明治民法が抜本的に改正され、戸主の権限や「家」制度が廃止された新民法が誕生した。
問6	答え 2 内村鑑三	明治政府が教育勅語を軸に国民統合を進めるなか、キリスト教徒の立場から教育勅語の奉読式における敬礼を拒否し、不敬事件を起こしたのが内村鑑三である。彼はこの事件により社会的非難を浴びて教職を辞することとなったが、のちに無教会主義を唱え、キリスト教の伝道や社会批評に足跡を残した。
問7	答え 2 日ソ基本条約	1925年、加藤高明内閣（憲政会・政友会・革新倶楽部の護憲三派連立）のもとでソ連との間に締結された。これにより日本とソ連の国交が樹立され、日本は北樺太における石油・石炭の採掘権などの利権を確保した。同年に治安維持法が制定された背景には、この条約締結による共産主義思想の流入への警戒があった。
問8	答え 4 伊藤博文	原敬は自身の日記（『原敬日記』）の中で、立憲政体の導入や立憲政友会の創始における伊藤博文の役割を、国家の将来を深く見据えた行動として極めて高く評価した。一方で、伊藤自身は山県有朋ら山県系官僚グループが政党内閣の運営を妨害しているとして激しく非難しており、山県を評価していたわけではない。
問9	答え 3 中国残留孤児	1945年8月のソ連参戦に伴う混乱期、旧満洲や内モンゴルなどの開拓団員をはじめとする多くの日本人が避難を余儀なくされた。その過程で親と死別・生別し、現地の人々に養育された子どもたちは、後に「中国残留孤児」と呼ばれた。日中国交正常化（1972年）以降、1980年代から国費による訪日調査や永住帰国事業が本格化した。言葉の壁や生活再建など、帰国後も多くの課題が残された。
問10	答え 3 梅原龍三郎	フランス留学中にルノワールから直接指導を受け、帰国後は日本の伝統的な美術（南画や琳派など）の要素を融合させた華麗な色彩の油絵を制作した。安井曾太郎とともに昭和期の洋画壇を代表する画家であり、二科会や国画会を舞台に活躍した。